

霧海難撲滅キャンペーン

～ 瀬戸内海・宇和海海難防止運動 ～

【平成24年3月5日～3月14日】

※ 瀬戸内海・宇和海では、春先から梅雨時期（特に5月から7月）にかけて衝突・乗揚げ海難が多発する傾向にあります。



霧中の来島海峡

狭視界時における航法等の遵守

1. 厳重な見張りの励行
2. 霧中信号の励行・遵守
3. 安全な速力による航行
4. 船位の確認・適切な避航動作
5. 安全な場所へ早期に避泊

霧海難

ゼロ

をめざして

狭視界時における安全運航マニュアルの策定及び励行 気象・海象等の十分な把握

※ 狭視界とは、「視界 2,000m未満」をいいます。

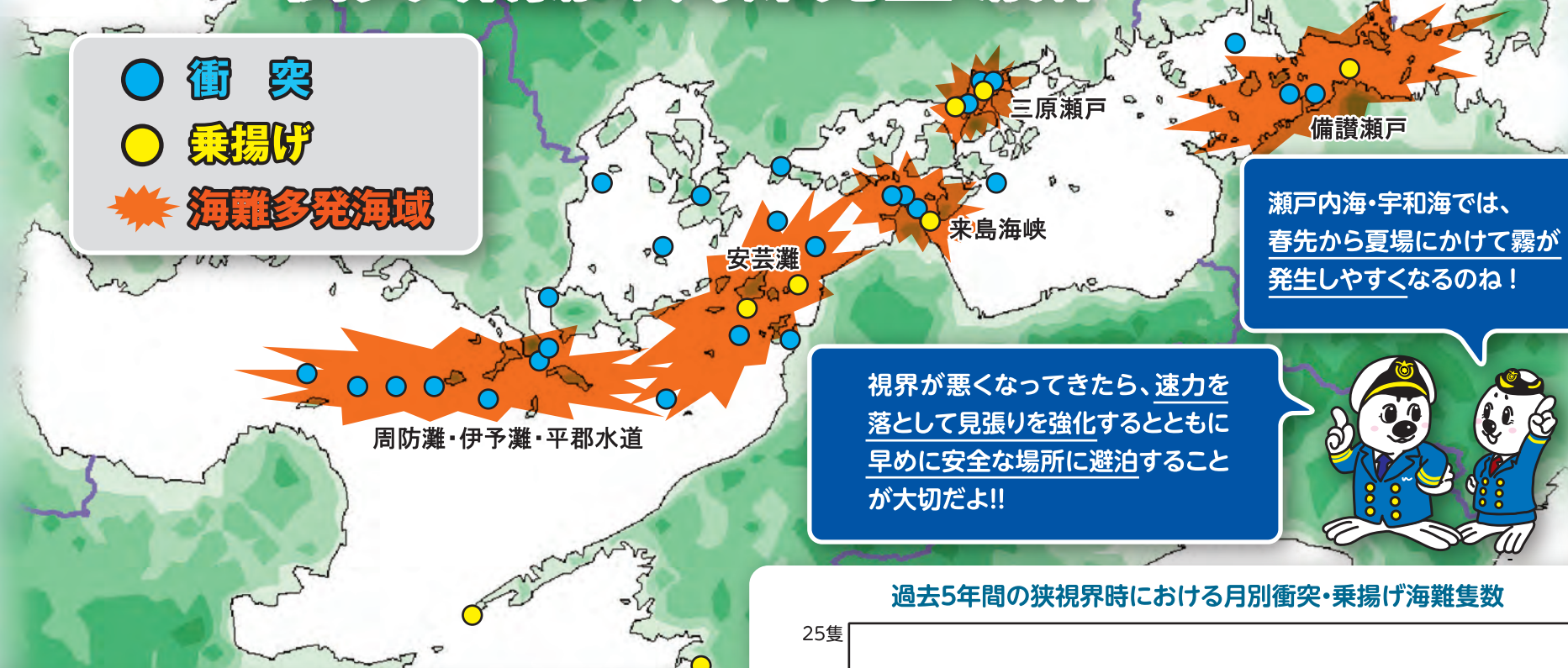
第六管区海上保安本部
海難防止強調運動瀬戸内海・宇和海地方推進連絡会議

(財)海上保安協会広島地方本部、(社)瀬戸内海海上安全協会、(社)瀬戸内海小型船安全協会、
中国総合通信局、四国総合通信局、中国運輸局、四国運輸局、広島地方海難審判所、運輸安全委員会事務局広島事務所、
中国地方海運組合連合会、全日本海員組合中・四国地方支部、内海水先区水先人会、船員災害防止協会中国支部

※このリーフレットは、(社)瀬戸内海海上安全協会の助成により作製しています。

過去5年間(平成18年~平成22年)の狭視界時における 衝突・乗揚げ海難発生場所

- 衝突
- 乗揚げ
- ★ 海難多発海域

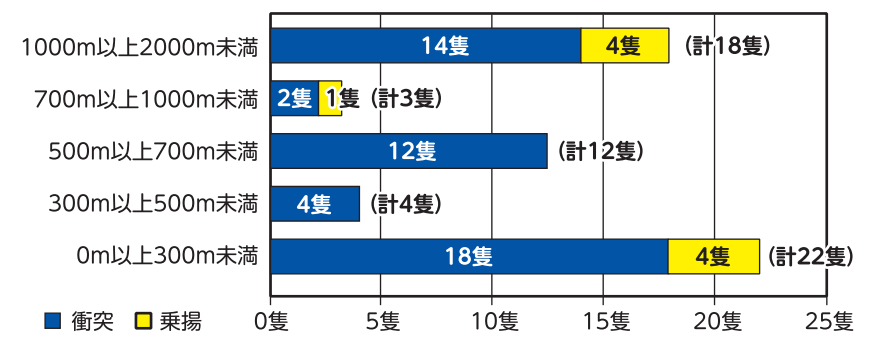


瀬戸内海・宇和海では、春先から夏場にかけて霧が発生しやすくなるのね!

視界が悪くなってきたら、速力を落として見張りを強化するとともに早めに安全な場所に避泊することが大切だよ!!



過去5年間の狭視界時における視程別衝突・乗揚げ海難隻数



過去5年間の狭視界時における月別衝突・乗揚げ海難隻数

